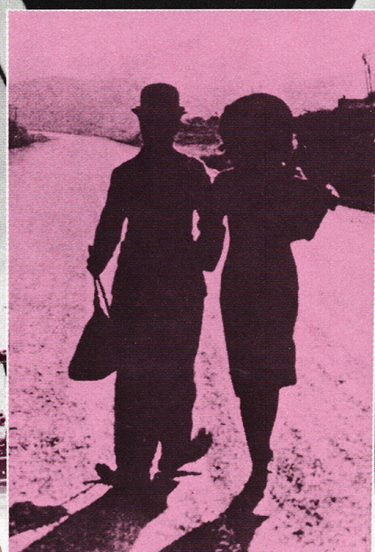





MODERN TIMES



製作・脚本・監督・主演・作曲
チャールズ・チャップリン

モダン タイムズ

人間は機械じゃない——
ハートを忘れた《現代》の悲哀を
痛烈な笑いで描く
世界映画史上不朽の名作!

東宝東和提供 

ポーレット・ゴダード
ヘンリー・バーグマン
チェスター・コンクリン
撮影■ロリー・トザロー/アイラ・モーガン
美術■チャールズ・D・ホール/ラッセル・スペンサー
演奏・指揮■アルフレッド・ニューマン

＊《さよならチャップリン》第1弾!

1月28日(土)の特別公開 **テアトル東京** (562) 5301

●特別観賞券1,000円<一般1,300円/学生1,100円の処>発売中!

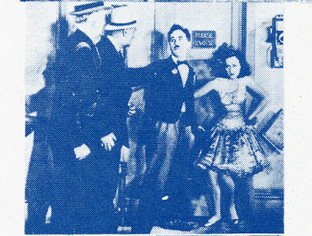
■同時上映

犬の生活

A DOG'S LIFE

モダン・タイムズ

MODERN TIMES



爆笑のうちに現代文明を描く不朽の傑作!

一九三六年、「街の灯」以来、実に五年ぶりに発表されたこの作品は、高度に組織化された当時の未来社会（つまり現代）を風刺した、チャップリンの今までにない斬新な文明批評映画である。

オートメ工場やテレビや自動食事機など、皮肉とユーモアたっぷりの道具立てに、「人間喪失」の悲劇を象徴化し痛烈に世界に訴えている。

深い人間愛に基づくこの映画は、三十年たった今、新鮮な感動を我々に呼びさましてくれるに違いない。

世はまさに機械化時代。チャップリンも巨大なオートメーション工場に勤める「人間歯車」のひとつである。今日も明日もつぎつぎと運ばれてくる部品のネジをスパナで締めつけるだけの単純作業。チャップリンたちの仕事の様子も、社長室のテレビに映し出され、トイレで一服することもできない。昼食の時間も売り込みに来た自動食事機の実験台にされ、ヒドイ目にあう始末。

チャップリンはついに気が狂った。ネジというネジ、ネジに似たものであれば女の服のボタンやボインにまで手を出してしまふ。救急車が来て送り込まれた先は精神病院。

退院して行くあてもなくさまよっていたチャップリンはデモのリーダーと間違えられて逮捕されてしまった。失業者のチャップリンにとって拘留所での生活は、最高に楽しかったが無罪釈放となつてはどうしようもない。

夢よ、もう一度と今度は無銭飲食。期待通りの警察行きとなったチャップリンは護送車の中で知り合った少女に恋して、一緒に脱走。少女の見つけてきたボロ家で二人だけの暮らしが始まった。

デパートの夜警、機械修理工と何をやってもうまくいかないチャップリンは少女が踊り子として働いているキャバレーに雇われ、即席の「ティティナの歌」を歌って一躍人気者になった。そんな時、感化院の役人が少女を捕えに来たのだった。またもや逃避行だ。

今、人けのない郊外の道をあてどなく寄りそい歩く二人の前に陽は昇る。そこには、貧しくとも愛と自由の世界があるのだ。

偉大なる芸術家・チャップリンを賛える

■希望と勇気と SOME MONEY

(順不同)

人生に必要なものは、「希望と勇気と SOME MONEY だ」とチャップリンが言った。ア、そうか、MUCH MONEY でなくていいんだな。ぼくは会社をやめた。

■再燃した想い出

私が映画にとりつかれたのは、八才の時、「モダン・タイムズ」を観てからだ。そして、私は映画監督になる決心をしたのだ。その想い出の映画を今見ると、あの時の感激が再び燃え上ってきた。

■世界の天才を見つめよう

いまや、伝説となつてしまった、世界の天才、話だけきいて、見てしまったような錯覚におちいつている人もあると思う。この機会にあなたの目で、あなたの心で見つめて下さい。チャップリンを。

■チャップリン映画館礼讃

ロンドンでは、いつ出かけてもチャップリンを見られる映画館がある、ときいて羨ましいと思つてきた。十年でも二十年でもロング・ランのきく映画があるとしたら、それはチャップリン映画だろう。悲しい日、嬉しい日、一人になりたい日、誰かを喜ばせたい日、そんなときいつでもチャップリン映画のみられるということ、これは文明社会にふさわしい施設である。

■破天荒の面白さ

《キネマ旬報編集長》 白井 佳夫氏
もしも、他の惑星への移住に一本だけ映画をもつていける——などということになったら、私はチャップリンの作品を選ぶ。どの一本もが、何度見ても変らぬ時代を越えた新鮮さと、破天荒な面白さを充満させているから。



さよなら
チャップリン

涙がこぼれるほどの面白さ……
胸が熱くなるほどの感動……
世界映画史上に燦然と輝く
不滅のチャップリン10大名著!

第1回ロードショー
モダン・タイムズ
MODERN TIMES

街の灯
CITY LIGHTS

ライムライト
LIME LIGHT

キッド
THE KID

チャップリンの
黄金狂時代
THE GOLD RUSH

サーカス
THE CIRCUS

チャップリンの
独裁者
THE GREAT DICTATOR

チャップリンの
殺人狂時代
MONSIEUR VERDOUX

ニューヨークの王様
A KING IN NEW YORK

チャップリン・パレード
犬の生活
A DOG'S LIFE
犬の生活 ■ 担え銃 ■ 偽牧師
SHOULDER ARMS THE PILGRIM

東宝東和提供
TOWA



MODERN
TIMES

45th TOWA ANNIVERSARY FILM
チャップリン
NIVAL CHAPLIN
1936



モダン タイムズ

製作・脚本・監督・主演・作曲
チャールズ・チャップリン

人間は機械じゃない——
ハートを忘れた《現代》の悲哀を
痛烈な笑いで描く
世界映画史上不朽の名作!

ポーレット・ゴダード
ヘンリー・バーグマン
チェスター・コンクリン
撮影 ■ ロリー・トザロー / アイラ・モーガン
美術 ■ チャールズ・D・ホール / ラッセル・スペンサー
演奏・指揮 ■ アルフレッド・ニューマン

東和〈創立45周年記念〉提供 TOWA

モダンタイムズ

MODERN TIMES



爆笑のうちに現代文明を描く不朽の傑作!

一九三六年、「街の灯」以来、実に五年ぶりに発表されたこの作品は、高度に組織化された当時の未来社会(つまり現代)を風刺した、チャップリンの今までのない斬新な文明批評映画である。

オートメ工場やテレビや自動食事機など、皮肉とユーモアたっぷりの道具立てに、「人間喪失」の悲劇を象徴化し痛烈に世界に訴えている。

深い人間愛に基づくこの映画は、三十年たった今、新鮮な感動を我々に呼びさましてくれるに違いない。

世はまさに機械化時代。チャップリンも巨大なオートメーション工場に勤める「人間歯車」のひとつである。今日も明日もつきつぎと運ばれてくる部品のネジをスパナで締めつけるだけの単純作業。チャップリンたちの仕事の様子も、社長室のテレビに映し出され、トイレで一服することもできない。昼食の時間も売り込みに来た自動食事機の実験台にされ、ヒドイ目にあう始末。

チャップリンはついに気が狂った。ネジというネジ、ネジに似たものであれば女の服のボタンやボインにまで手を出してしまう。救急車が来て送り込まれた先は精神病院。

退院して行くあてもなくさまよっていたチャップリンはデモのリーダーと間違えられて逮捕されてしまった。失業中のチャップリンにとって拘留所での生活は、最高に楽しかったが無罪釈放となつてはどうしようもない。

夢よ、もう一度と今度は無銭飲食。期待通りの警察行きとなつたチャップリンは護送車の中で知り合った少女に恋して、一緒に脱走。少女の見つけてきたボロ家で二人だけの暮らしが始まった。

デパートの夜警、機械修理工と何をやってもうまくいかないチャップリンは少女が踊り子として働いているキャバレーに雇われ、即席の「ティティナの歌」を歌って一躍人気者になった。そんな時、感化院の役人が少女を捕えに来たのだった。またもや逃避行だ。

今、人けのない郊外の道をあてどなく寄りそい歩く二人の前に陽は昇る。そこには、貧しくとも愛と自由の世界があるのだ。

偉大なる芸術家・チャップリンを賛える

■希望と勇氣と SOME MONEY

(順不同)

人生に必要なものは、「希望と勇氣と SOME MONEY だ」とチャップリンが言った。ア、そうか、MUCH MONEY でなくていいんだな。ぼくは会社をやめた。

■再燃した想い出

〈映画監督〉熊井 啓氏

私が映画にとりつかれたのは、八才の時、「モダン・タイムズ」を観てからだ。そして、私は映画監督になる決心をしたのだ。その想い出の映画を今見ると、あの時の感激が再び燃え上ってきた。

■世界の天才を見つめよう

〈俳優〉渥美 清氏

いまや、伝説となつてしまった、世界の天才、話だけきいて、見てしまったような錯覚におちいつている人もあると思う。この機会にあなたの目で、あなたの心で見つめて下さい。チャップリンを。

■チャップリン映画館礼讃

〈作家〉安岡章太郎氏

ロンドンでは、いつ出かけてもチャップリンを見られる映画館がある、ときいて羨ましいと思つてきた。十年でも二十年でもロング・ランのきく映画があるとしたら、それはチャップリン映画だろう。悲しい日、嬉しい日、一人になりたい日、誰かを喜ばせたい日、そんなときいつでもチャップリン映画のみられるということ、これは文明社会にふさわしい施設である。

■破天荒の面白さ

〈キネマ旬報編集長〉白井 佳夫氏

もしも、他の惑星への移住に一本だけ映画をもつていける——などということになったら、私はチャップリンの作品を選ぶ。どの一本もが、何度見ても変らぬ時代を越えた新鮮さと、破天荒な面白さを充滿させているから。



45th TOWA ANNIVERSARY FILM

ビバ!
チャップリン
〈チャップリン10大名作公開〉

涙がこぼれるほどの面白さ……
胸が熱くなるほどの感動……
世界映画史上に燦然と輝く
不滅のチャップリン10大名作!

■第一回ロードショー

モダン・タイムズ
MODERN TIMES

街の灯
CITY LIGHTS

ライムライト
LIMEIGHT

キッド
THE KID

黄金狂時代
THE GOLD RUSH

サーカス
THE CIRCUS

独裁者
THE GREAT DICTATOR

殺人狂時代
MONSIEUR VERDOUX

ニューヨークの王様
A KING IN NEW YORK

チャップリン・パレード
犬の生活 ■ 担え銃 ■ 偽牧師
A DOG'S LIFE ■ SHOULDERS THE PILGRIM

東和創立45周年記念提供

